

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
学校便り 第11号
文責：校長 川端 保成
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

「考えよう、今、みんなにできること・・・」

冬休みに入っても、新しい年を迎えながらも、新型コロナウイルスの感染が終息に向かわず、感染者や死者の数が毎日のように報道されていました。

熊本県でも福岡県や沖縄県に続き多くの新規感染者を出すこととなり、医療機関も心配な状況となってきました。そんな中、子どもたちには、希望に満ちた新たな年を安心してスタートしてほしいと思います。急遽ではありません



たが、子どもたちに向けての啓発動画を作りました。こんな時だけではなく、みんながたたく優しい心でお互いを元気づけていくべきだと思ったのです。すべての先生方に一度見ていただき、各学年に応じた伝え方をお願いして、すぐに取り組んでいただきました。各ご家庭でも、大切にしなければならぬものは何かについて、お子さんと話されてみてはどうでしょうか？

かかった人のせいじゃないよね？!



じぶんがいわれたら・・・

どんなきもちになる？



立派な門松、完成！

去る12月26日(土)朝8:30より、PTA役員の皆様と門松づくりを行いました。日本の良き伝統として続く



「門松」の風習は、正月に年神様が家を回る際に見付けやすいよう目印として松の飾りを立てたことが始まりのようです。実際につくるとなると、土台のまわりを竹で囲む際に縛る荒縄は、下から「7回、5回、3回」と縛るなど、飾り付けのひとつひとつに理由があることを恥ずかしながら私は初めて知りました。これで今年も、無事正月を迎えられました。役員の皆様、寒い中、大変お疲れ様でした。

我が家の1か条コンクール、入選！



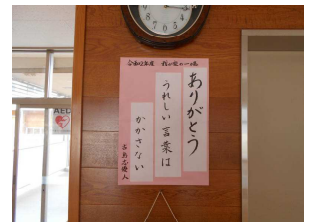
宇城市PTA主催の「我が家の1か条コンクール」で、宇城市から22作品が入賞する中、なんと、本校から以下の3作品が入選しました。

優秀賞：6年、古島志優人くん
5年、西村英美里さん
ユーモア賞：3年、下築瑠泉さん

本来であれば、全校集会の場で表彰を行いたかったのですが、コロナ禍の中、叶いませんでした。せめてもの思いで、校長室において、私から直接3人に手渡させていただきました。

小学生というこの年代では、だれにでも無限の「可能性」があると信じています。これからは小野部田っ子には、「自分には無理だ」などと決めつけず、さまざまなジャンルで、失敗を恐れずにチャレンジしてもらいたいと思います。

なお、古島君の作品である「ありがとう、うれしい言葉はかかさない」は、子どもたちが毎日目にする昇降口の前に掲示しています。受賞したみなさん、おめでとう！



早いもので、2021年、令和3年を迎えることとなりました。あらためて数えてみると、6年生にとっては、小学校卒業まであと58日、そのうちこの小野部田小に登校する日は、なんと40日しかありません。(1月25日現在) 6年生のクラスには、その日を記す「卒業カウント・ダウンカレンダー」が、子どもたちの手で作成され、1日1枚めくられていきます。この小野部田小で頑張った証としての足跡が残せるよう、精一杯支えていく覚悟です。

2月の行事予定

5日 小川中新入生説明会(6年保護者)
12日 新入生保護者説明会
25・26日 学カテスト(国・算)



※ 感染防止の観点から、変更することもあります。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。